

8月24日（金）、台風20号の影響により急遽運航スケジュールを変更した『ダイヤモンド・プリンセス』が青森港へ寄港し、新中央ふ頭岸壁へ初めて着岸しました。

同船は平成26年の初寄港から33回寄港している青森港でも特に馴染み深い外国クルーズ船です。しかし、その船体の大きさにより、中心市街地から遠い沖館埠頭岸壁への着岸を余儀なくされてきました。中心市街地に近接する新中央ふ頭岸壁への着岸は、県民・市民の悲願となっていました。岸壁の延伸や防波堤撤去の完了により、同埠頭への進入が容易となったことで、初めての着岸が実現しました。

ふ頭では、青森ねぶた囃子の演奏で乗客の皆様を出迎えたほか、小野寺青森市長のあいさつや記念品の贈呈などの歓迎セレモニーが行われました。

乗客の多くは、新中央ふ頭から徒歩で市内散策へ出かけられたようです。

同船は24日夜に次の寄港地である室蘭港へ向け出港しました。



▲ダイヤモンド・プリンセス（左：新中央ふ頭から撮影 右：アスパムから撮影）



▲新中央ふ頭延伸部とダイヤモンド・プリンセス



▲小野寺市長の歓迎あいさつ



▲記念品を交換した小野寺市長と船長